

元吉原小児童会
キャラクター
えがオンだおん！



しょうらい 松籟



富士市立元吉原小学校
学校だより
令和8年8月27日発行

令和8年度 小中学校教育目標「人として 熱く 優しく たくましく」 重点目標 「あたたかい 心と ことばで」

夏休みがおわりました 32日間、静まり返っていた校舎やグラウンドに、子どもたちの元気



な声と笑顔が戻ってきました。何よりもうれしかったのは、子どもたちが大きな事故や事件に巻き込まれることがなかったことです。保護者の皆様や地域の皆様に見守っていただきながら、この夏を無事に過ごすことができたことに、心より感謝申し上げます。夏休みの過ごし方は、一人ひとり異なります。旅行や帰省、地域の行事など特別な体験をした人もいれば、家族とゆっくり過ごしたり、自宅で穏やかな時間を重ねたりした人もいることでしょう。しかし、どのような夏休みであっても、その時間はそれぞれの子どもたちにとってかけがえのないものです。何気ない日常の中にも、心が動いた出来事や家族とのふれあいがあり、それらは子どもたちの大切な思い出の一ページとして積み重なっていることと思います。

さて、これから冬休みまでの82日間が始まります。学校では、スポーツフェスティバルをはじめ、様々な学習活動や行事が予定されています。子どもたちには、「自分にできることは何か」を考えながら、一歩ずつ前向きに挑戦してほしいと願っています。それは決して大きな目標である必要はありません。挨拶を続けること、人に優しくすること、最後までやり抜こうとすることなど、小さな一歩の積み重ねが子どもたちの成長につながっていきます。

教職員一同、子どもたち一人一人の思いや頑張りにより添いながら、実り多い82日間となるよう取り組んでまいります。また、これからの生活についてなど、何かご心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地域とともにある学校 ～夏休み中に話合いの機会を設けました～

・7月27日（月）学校運営協議会

参加者：学校運営協議会委員、本校職員（計24名）

内 容：地域と家庭・学校で連携していきたいこと

・8月1日（土）学校防災教育連絡会議

参加者：自主防災会長・防災指導員・避難所運営担当者 等 地区の防災担当者、
防災担当市職員、学校・園・児童クラブ等代表者（計31名）

内 容：学校の防災体制、避難所になった場合の対応、防災備品の確認 等



もしも…に備えて 7月23日にマチコミで送信した「防災チェックリスト」について、ご家庭で話し合う機会をもてたでしょうか。日本各地では、地震や洪水などの大きな災害が発生しています。特に心配しているのは、登下校時や放課後など、子どもたちが一人または少人数で行動しているときに災害が起きた場合です。そのような状況でどのような行動をとるべきかを、実際の場所で確認しておくことで、もしもの時にも落ち着いて命を守る行動につながるのではないかと考えています。大人であっても、大きな災害の中では冷静さを保つことが難しいものです。子どもたちにとっては、なおさら日頃からの備えが大切になります。この機会に今一度、ご家族で災害が起きた際にどのような行動をとるのかを確認していただきますようお願いいたします。

